

平成17年9月29日

—環境に配慮し、コスト削減につながる取り組み—

店舗会計システム変更による 伝票・帳票のペーパーレス化について

株式会社セブン-イレブン・ジャパン（以下セブン-イレブン・ジャパン、東京都千代田区、代表取締役社長 最高執行責任者〈COO〉：山口俊郎）は、平成17年10月1日よりセブン-イレブン店舗の会計システムにおいて、伝票・帳票の大半を紙での運用から電子データによる運用に変更いたします。

この店舗会計システムの変更は、取引先から店舗へお届けする伝票（仕入伝票等）のうち、コンピュータ発注分の取引情報を電子保存し、電子データで運用することで、伝票類のペーパーレス化を実現するものです。また、各店舗で作成する帳票類についても、これまでは紙帳票を本部へ提出していましたが、これを店舗のコンピュータ画面上で承認し、本部へオンラインで送信する方法に変更することで、店舗での印刷を停止いたします。

これらの取り組みは、①伝票集計・送付業務の簡素化・効率化、②店舗での保管帳票類の削減、③会計処理の正確性と生産性の向上、④紙の削減等によるコスト削減と環境対策につなげることを目的としております。今回のペーパーレス化により、伝票・帳票は変更前と比べ約9割（約2億2,000万枚／年）削減されます。こうした伝票発行等に関わる費用や、管理のための人件費等の年間コストについては、加盟店、取引先、セブン-イレブン・ジャパンの合計で約14億円の削減を見込んでおります。

今後もセブン-イレブン・ジャパンでは、業務効率化、生産性向上、コスト削減、環境対策等を目的に、情報システムの再構築を行ってまいります。

以上